

平成 23 年 4 月 19 日  
国際石油開発帝石株式会社  
広報・IR ユニット  
(電話 03-5572-0233)

オーストラリア イクシスプロジェクト 環境影響評価報告書の追加レポート  
(サプリメント) の連邦政府および北部準州政府への提出について (お知らせ)

国際石油開発帝石株式会社は、子会社のインペックス西豪州ブラウズ石油株式会社を通じて開発準備作業を進めているイクシスプロジェクトについて、このたび、環境影響評価報告書<sup>(※)</sup> (Environmental Impact Statement) の追加レポート (サプリメント) を連邦政府および北部準州政府に提出しましたので、お知らせいたします。

<sup>(※)</sup> イクシスプロジェクトの環境影響評価報告書とは、同プロジェクトの沖合処理・生産施設、海底パイプライン、および天然ガス液化プラント (LNG) 建設予定地 (北部準州のダーウィン) のそれぞれについて、オーストラリア連邦政府および北部準州政府が策定したガイドラインに沿って環境への影響を数年にわたり調査し取りまとめた報告書で 2010 年 4 月に両政府に対して提出済みで、下記の通り同年 7 月から 9 月に一般公開されています。

イクシスプロジェクトの環境影響評価報告書は、2010 年 7 月から 9 月にかけて一般公開され、LNG プラントの建設予定地であるダーウィン地域を中心とした様々なステークホルダーから意見が寄せられました。今回の追加レポート (サプリメント) にはこれらの意見を踏まえた提案も含まれており、この追加レポートの連邦政府および北部準州への提出がイクシスプロジェクトの環境許認可取得のための最終的な手続きとなります。今後、今年第 4 四半期に予定しているイクシスプロジェクトの最終投資決定までに、連邦政府および北部準州政府のそれぞれの環境担当大臣からこの追加レポート (サプリメント) を含めた環境影響評価報告書に基づきイクシスプロジェクトの実施に対する承認 (環境許認可) を得ることを目指します。

当社は、連邦政府、西豪州政府および北部準州政府をはじめとするオーストラリアの関係者やプロジェクト関係者の方々の理解と協力を得ながら、イクシスプロジェクトを予定通り立ち上げるために引き続き努力してまいります。

以上

<補足・関連情報>

- (1) イクシスプロジェクト参加権益比率（WA-37-R 鉱区参加権益比率）：  
インペックス西豪州ブラウズ石油株 76%（オペレーター）  
Total E&P Australia 24%
- (2) 可採埋蔵量：  
天然ガス 12.8 兆立方フィート（含 LPG）、コンデンセート 5 億 2,700 万バレル  
（原油換算合計約 30 億バレル。オーストラリア政府へ報告しているイクシスガス・コン  
デンセート田全体の埋蔵量）
- (3) 生産開始（予定）：  
2016 年第 4 四半期
- (4) 生産量（予定）：  
LNG 年間 840 万トン、LPG 年間約 160 万トンおよびコンデンセート日量約 10 万バレル  
（ピーク時）。
- (5) 環境影響評価報告書：  
環境影響評価報告書は、当社イクシスプロジェクトウェブサイト：[www.inpex.com.au](http://www.inpex.com.au)、  
およびオーストラリア北部準州政府 公式ウェブサイト：[www.nt.gov.au/nretas](http://www.nt.gov.au/nretas) にて掲載  
中。



イクシスプロジェクト：  
オーストラリア ダーウィンにおける天然ガス液化プラント（LNG）建設イメージ図